

令和元年度第1回

昭島市国民健康保険運営協議会議事録要旨

令和元年5月31日

保健福祉部保険年金課

令和元年度第1回昭島市国民健康保険運営協議会

令和元年5月31日（金）午後1時30分開会

昭島市役所 庁議室

1. 開 会

2. 報告事項

- (1) 令和元年度昭島市国民健康保険特別会計予算について
- (2) 平成30年度保険税の収納状況等について
- (3) 国民健康保険被保険者の状況等について

3. その他

出席（9名）

高野 照 夫 委員	石 原 正 昭 委員	山 川 博 生 委員
五 藤 英 恵 委員	山 本 莊 太 郎 委員	久 保 昇 委員
中 田 京 子 委員	岸 野 康 夫 委員	鈴 木 克 仁 委員

説明者

昭島市長 白井 伸介、保健福祉部長 佐藤 一夫、保険年金課長 岡本 由紀子、
保険年金課保険係長 菅野 達也、保険年金課賦課担当係長 山梨 智恵子

◎市長挨拶

◎報告

(1) 令和元年度昭島市国民健康保険特別会計予算について【資料1】

<歳入>

116億2,200万円(対前年度比:6,000万円増)

第1款 国民健康保険税

被保険者数の減少傾向により減(被保険者数:2万5,200人を想定/収納割合:一般分92.6%、退職分98%で算定)

第2款 一部負担金

前年度同額、科目存置

第3款 国庫支出金

前年度同額、科目存置

第4款 都支出金

対前年度比:3,191万円増

第5款 財産収入

さらなる不足分については、赤字補填分を含め、第6款繰入金において、一般会計及び基金からの繰入金を充当

第6款 繰入金

保険証一斉更新の年度により経費等は増だが、その他一般会計繰入金を減

<歳出>

第1款 総務費

保険証の一斉更新経費等の増による

第2款 保険給付費

対前年度比:183万7,000円増

第3款 国民健康保険事業費納付金

予算作成時に都から示された係数による。予算作成後に示された確定係数により、年度内に補正対応検討予定

第4款 共同事業拠出金

前年度と同額

第5款 保険事業費

特定健診等の利用者の増を見込み増

第6款 基金積立金～第9款 予備費

前年度とほぼ同額

<質疑応答>

(A委員)

議会でも承認を得ているのか。

(事務局)

その通りである。

(A委員)

一般の企業や組織の場合、予算の前提としてある事業計画のようなものはあるのか。

(事務局)

事業の結果は事務報告等で行っているが、予算書の段階では、資料が一覧になったものがない。次年度や補正の際に、検討する。

(B委員)

収納割合が、30年度予算で92.5%、31年度92.6%となったが、このまま93%に行くのか。

(事務局)

現時点で、収納率93%が予算の数字として適切かというのが、議論のあるところであり、明言はできない。ただ、今後も、収納率アップを目指して、努力を続けていく。

(2) 平成30年度保険税の収納状況等について【資料2】

<国民健康保険税収納率の状況について>

- ・市役所の会計の場合、出納整理期間（4月、5月）があり、5月末をもって最終的な数字の確定という形になるため、今後数字が変わる可能性がある。収納の状況については、29年度の数字に近くなるのではないかと聞いている。

<医療費の状況について>

- ・30年度については速報値となるが、全体の金額少なくなってきた。ただ、単純に医療費が減っているのではなく、加入者減少の影響が大きいと感じている。
- ・内訳は、高額療養費の金額が大変大きくなっている。

<特定検診の受診状況について>

- ・29年度よりは受診率が上がり、昨年度策定した特定検診の実施計画の30年度目標を達成している。
- ・受診勧奨の事業について、毎年少しずつ工夫し、今後もさらに効果的な方法を探っていきたいと考える。

<特定保健指導の利用状況について>

- ・速報値の利用率のみを比べると、29年度から若干下がって、現在、16.6%である。
- ・保健指導は、開始してから事業終了まで半年間かかり、最後まで継続されない方もいるが、30年度は29年度よりも継続している方が多く、全体の利用状況としては、29年度よりも少し多いのではないかと感じている。

<質疑応答>

(C委員)

質問ではなく、意見だが、特定健診の受診率52.1%と、大変努力していただいたと思う。他市の例を見ても、約55%が、1つの限界かと思うが、そこに向けて努めていただきたい。

(3) 国民健康保険被保険者の状況等について【資料3】

<被保険者の状況>

- ・昭島市の国保加入者の割合が、年々減少している。
- ・65歳～69歳位に他の保険から国保に加入される方が多い。

(D委員)

国保資格の取得や喪失について、事由ごとに具体的な数字で示したほうがわかりやすい

のではないか。

(事務局)

内訳の資料は出ているが、今この場にはないため、後日配布する。

(E委員)

昭島市の人口はほぼ変わらないか微増なのに、国保加入者は26年度～30年度で、6,000人以上減である。なぜなのか。

また、国保加入者が減少することは国保財政にとって良いことなのか、悪いことなのか、見解をお願いしたい。

(事務局)

人口減については、28年の制度改正で今まで勤務時間等で勤め先の保険に加入できなかった方が加入できるようになったことが一番大きいように感じている。また、短期間の加入となる場合が多い外国人の加入者が増えたこともある。

国保財政への影響については、加入者が多い方がスケールメリットはあると思うが、基本的には経済が成長していれば安定的な運営が確保できると考える。

◎その他

- ・現体制の国保運営協議会は、今回が最後となる。
- ・次回は、7月5日（金）開催予定